



## 高山陣屋移動展

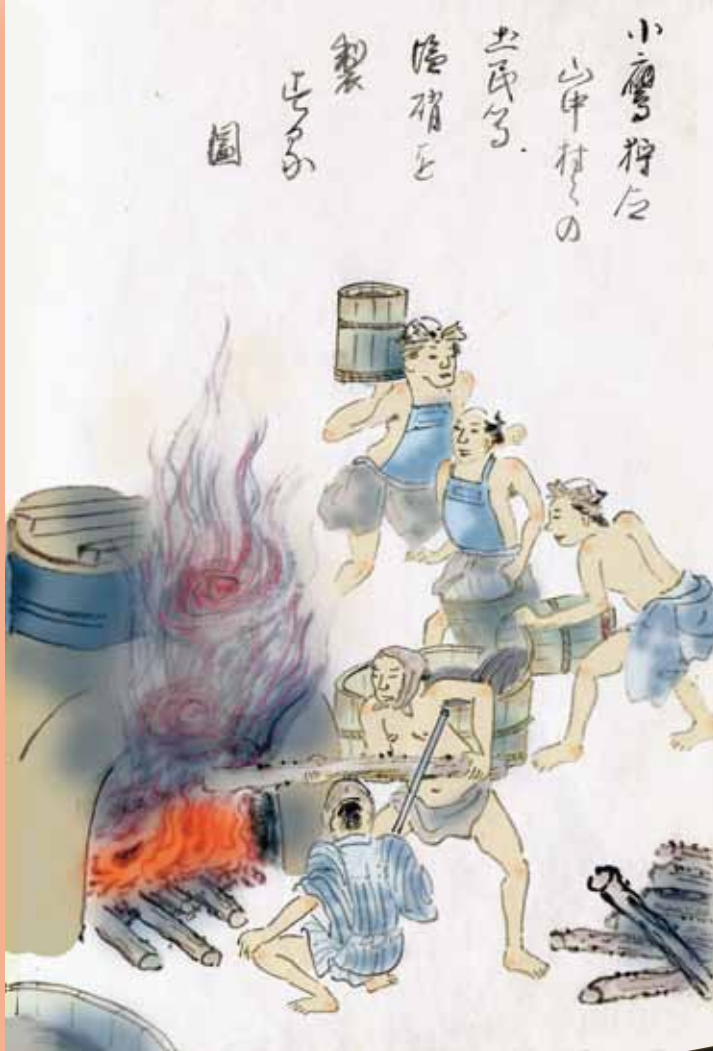
平成27年度岐阜県博物館マイミュージアムギャラリー第8回展示

# 「幕領飛騨と塩硝」

えんしょう

# 「高山陣屋附鉄炮」

づけ てつぽう



展示期間  
平成28年2月20日(土)～3月21日(月・振)



塩硝煮の様子と高山陣屋附鉄炮

### あいさつ

国史跡高山陣屋で過去に行った特別展のうち、「高山陣屋附鉄炮」と「幕領飛騨と塩硝(焰硝)」を、今回初めて岐阜県博物館マイミュージアムギャラリーで移動展という形で展示することになりました。

江戸時代に作成された膨大な量の高山陣屋文書の中から、鉄炮と焰硝に焦点を当て、理系的視点で読み解いてみたものです。厳しい自然の中で、工夫しながら生きてきた江戸時代の飛騨人の様子を感じ取っていただければ幸いです。

宇津宮 清和(高山陣屋 所長)

## 幕領飛騨と塩硝

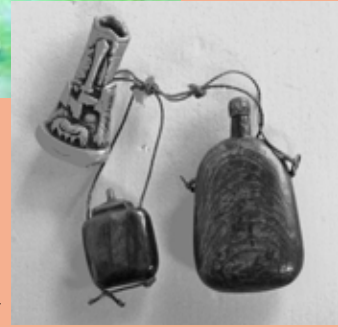


塩硝生産に関する高山陣屋文書



塩硝製造が盛んに行われていた白川郷合掌集落

## 高山陣屋附鉄炮



右:鉄炮の銃床に押された焼印  
左:玉薬(火薬)入れ



国史跡高山陣屋では、高山陣屋文書の研究によって明らかになった幕領飛騨の自然・歴史・文化を紹介する特別展を開催しています。今回の移動展では、近年で開催された特別展の中から「幕領飛騨の塩硝～江戸時代のバイオテクノロジー～」と「高山陣屋附鉄炮～かつて飛騨の村々に千挺余の鉄炮が～」の2題について紹介します。前者では江戸時代に白川郷を中心に生産され、黒色火薬の原料となった塩硝（硝酸カリウム）の製造方法と流通の実態に迫ります。後者においては高山陣屋が所有した1000挺もの鉄炮がどのように使われ管理されたかを明らかにします。塩硝と鉄炮という切り口から、幕領時代の飛騨の歴史や人々の暮らしについて、今までになかった新しい視点を提示します。

### Information

## 国史跡 高山陣屋



高山陣屋は、江戸幕府が飛騨国を直轄領として管理するために設置した代官所・飛騨郡代役所(陣屋)です。

幕末には全国に60数カ所あったと言われている郡代・代官所の中で、当時の建物が残っているのはこの高山陣屋だけであり、昭和4年に国史跡に指定されました。

住所 〒506-0012 高山市八軒町1-5  
TEL 0577-32-0643  
交通 JR高山駅より徒歩約10分  
開館時間 8:45～17:00 (3月～10月)  
8:45～16:30 (11月～2月)  
8:45～18:00 (8月)  
休館日 12/29・12/31・1/1  
入館料 大人400円、高校生以下無料

### マイミュージアムギャラリー 次回の予告

平成28年度第1回展示  
平成28年4/5(土)～5/8(日)

### 《故玩館移動展》 美術工芸品で味わう能文化 ～故玩館 骨董・アンティークコレクション～

瑞穂市、中山道美江寺宿にある故玩館(築120年の古民家)では、杉原利治さんが蒐集した古美術品や歴史資料を公開しています。今回は収蔵品の中から、能関係の美術工芸品100点余を展示します。また『関ヶ原合戦大絵図』など、故玩館所有の貴重なコレクションも併せて展示します。

### コレクションや作品を展示してみませんか

マイミュージアムギャラリーは、岐阜県に在住、在勤またはゆかりのある個人及び団体(法人等)のコレクションや生涯学習の成果発表の場です。特に、貴重なコレクション、岐阜県に關係するコレクションや作品を歓迎します。



展示の条件などは、当館マイミュージアムギャラリーで配布のチラシの裏面をご覧ください。その他出展に関してご不明な点があれば、マイミュージアム係までお気軽にお尋ねください。

**申込み受付中!**

### 交通案内



休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)  
入館料 無料(ただし、博物館本館への展示を閲覧される場合には、所定の入館料が必要です。)  
時間 9:30～16:30 (入館は16:00まで)

- ・東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- ・岐阜バス(小屋名バス停下車徒歩約20分)
- ※岐阜駅方面からは、岐阜バスバスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください(岐阜関線、岐阜美濃線)
- ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(岐阜関線)
- ・岐阜バス・名鉄バス(赤土坂バス停下車徒歩約25分)
- ※名古屋駅方面からは、名鉄バスセンターでご乗車ください(高速名古屋線)

**公園駐車料金が無料になりました!**

